

沖縄工業高等専門学校	開講年度	平成30年度(2018年度)	授業科目	微積分II
科目基礎情報				
科目番号	3007	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 4	
開設学科	情報通信システム工学科	対象学年	3	
開設期	通年	週時間数	4	
教科書/教材	「新編 高専の数学3(第2版・新装版)」「新編 高専の数学3問題集(第2版)」(森北出版)			
担当教員	成田 誠			
到達目標				
(1) 工学の基本的問題を解決する為に必要な微積分の知識、計算技術および応用能力を修得する。また、これまでに学習した基礎数学、線形代数、微積分などの知識についても適宜復習する。【I】【VIII-E】				
(2) 1変数関数についての微分法や積分法の基礎的な概念を理解し、計算の技法を修得する。【I】【VIII-E】				
(3) 偏微分法や重積分法に関する基礎的な概念を理解し、計算の技法を修得する。【I】【VIII-E】				
(4) 微分方程式に関する基礎的な概念を理解し、計算の技法を修得する。【I】【VIII-E】				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限必要な到達レベル(可)	
1変数関数の微分法の基礎的な概念を理解し計算技法を修得する。	1変数関数の微分法の基礎的な概念、および、計算技法を理解し、これらを応用して高度な問題(問題集のB,C問題レベル)を解決できる。また、総合的な問題を解決する道具の一つとして、1変数関数の微分法の基礎的な概念を適切に活用できる。	1変数関数の微分法の基礎的な概念、および、計算技法を理解し、ヒントや誘導のない状態で基礎的な問題(教科書の例題や問、および、問題集のA問題レベルの問題)を解決できる。	1変数関数の微分法の基礎的な概念、および、計算技法を理解し、ヒントや誘導に従って基礎的な問題(教科書の例題や問、および、問題集のA問題レベルの問題)を解決できる。	
1変数関数の積分法の基礎的な概念を理解し計算技法を修得する。	1変数関数の積分法の基礎的な概念、および、計算技法を理解し、高度な問題(問題集のB,C問題レベル)を解決できる。また、総合的な問題を解決する道具の一つとして、1変数関数の積分法の基礎的な概念を適切に活用できる。	1変数関数の積分法の基礎的な概念、および、計算技法を理解し、ヒントや誘導のない状態で基礎的な問題(教科書の例題や問、および、問題集のA問題レベルの問題)を解決できる。	1変数関数の積分法の基礎的な概念、および、計算技法を理解し、ヒントや誘導に従って基礎的な問題(教科書の例題や問、および、問題集のA問題レベルの問題)を解決できる。	
2変数関数の偏微分法の基礎的な概念を理解し計算技法を修得する。	2変数関数の偏微分法の基礎的な概念、および、計算技法を理解し、高度な問題(問題集のB,C問題レベル)を解決できる。また、総合的な問題を解決する道具の一つとして、2変数関数の偏微分法の基礎的な概念を適切に活用できる。	2変数関数の偏微分法の基礎的な概念、および、計算技法を理解し、ヒントや誘導のない状態で基礎的な問題(教科書の例題や問、および、問題集のA問題レベルの問題)を解決できる。	2変数関数の偏微分法の基礎的な概念、および、計算技法を理解し、ヒントや誘導に従って基礎的な問題(教科書の例題や問、および、問題集のA問題レベルの問題)を解決できる。	
2変数関数の重積分法の基礎的な概念を理解し計算技法を修得する。	2変数関数の重積分法の基礎的な概念、および、計算技法を理解し、高度な問題(問題集のB,C問題レベル)を解決できる。また、総合的な問題を解決する道具の一つとして、2変数関数の重積分法の基礎的な概念を適切に活用できる。	2変数関数の重積分法の基礎的な概念、および、計算技法を理解し、ヒントや誘導のない状態で基礎的な問題(教科書の例題や問、および、問題集のA問題レベルの問題)を解決できる。	2変数関数の重積分法の基礎的な概念、および、計算技法を理解し、ヒントや誘導に従って基礎的な問題(教科書の例題や問、および、問題集のA問題レベルの問題)を解決できる。	

微分方程式の基礎的な概念を理解し計算技法を修得する。	微分方程式の基礎的な概念、および、計算技法を理解し、高度な問題（問題集のB, C問題レベル）を解決できる。また、総合的な問題を解決する道具の一つとして、微分方程式の基礎的な概念を適切に活用できる。	微分方程式の基礎的な概念、および、計算技法を理解し、ヒントや誘導のない状態で基礎的な問題（教科書の例題や問、および、問題集のA問題レベルの問題）を解決できる。	微分方程式の基礎的な概念、および、計算技法を理解し、ヒントや誘導に従って基礎的な問題（教科書の例題や問、および、問題集のA問題レベルの問題）を解決できる。
----------------------------	--	---	---

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	<ul style="list-style-type: none"> 工学の基礎となる微分法、積分法について講義と演習を行う。 授業時間に適宜問題演習を行い、授業内容の理解の定着をはかる。 授業中に行う演習及び学習到達度試験により、学習状況を確認する。
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1週	微積分Iの復習	微積分Iの復習を行う。【VIII-E】
	2週	べき級数	べき級数の収束、発散を学ぶ。【VIII-E】
	3週	高次導関数	高次導関数を学ぶ。【VIII-E】
	4週	ティラーの定理	ティラーの定理とオイラーの公式を理解する。【VIII-E】
	5週	おもな関数の不定積分	おもな関数の不定積分を計算できるようになる。【VIII-E】
	6週	分数関数の積分	分数関数の積分を計算できるようになる。【VIII-E】
	7週	$\sin x, \cos x$ の分数関数の積分	$\sin x, \cos x$ の分数関数の積分を計算できるようになる。【VIII-E】
	8週	前期中間試験	
2ndQ	9週	和の極限値としての定積分	定積分を和の極限値として定義する。【VIII-E】
	10週	面積・体積	面積や体積の計算ができるようになる。【VIII-E】
	11週	曲線の長さ	曲線の長さを定義し、計算できるようになる。【VIII-E】
	12週	広義積分	広義積分を定義し、計算できるようになる。【VIII-E】
	13週	2変数関数	2変数関数の定義を理解し、その極限値を計算できるようになる。【VIII-E】
	14週	偏導関数	偏導関数の定義を理解し、計算できるようになる。【VIII-E】
	15週	合成関数の偏導関数	合成関数の偏導関数の公式を用いて、合成関数の偏導関数が計算できるようになる。【VIII-E】
	16週	期末試験	
後期	1週	2変数関数の平均値の定理	2変数関数の平均値の定理を理解する。【VIII-E】
	2週	2変数関数の極大・極小	2変数関数の極大値、極小値を計算できるようになる。【VIII-E】
	3週	陰関数定理	陰関数定理を理解する。【VIII-E】
	4週	条件付き極大・極小	2変数関数の条件付き極大値、極小値を計算できるようになる。【VIII-E】
	5週	重積分	重積分を理解し、計算できるようになる。【VIII-E】
	6週	極座標による重積分	極座標を用いた重積分の計算ができるようになる。【VIII-E】
	7週	後期中間試験	
	8週	微分方程式と解	微分方程式の定義を理解する。【VIII-E】
4thQ	9週	変数分離形	変数分離形の微分方程式の解を求められるようになる。【VIII-E】
	10週	同次形	同次形の微分方程式の解を求められるようになる。【VIII-E】
	11週	線形微分方程式	線形微分方程式の解を求められるようになる。【VIII-E】
	12週	完全微分形	完全微分形の微分方程式の解を求められるようになる。【VIII-E】
	13週	1階微分方程式になおす方法	2階微分方程式を1階微分方程式になおして解を求める方法を理解する。【VIII-E】
	14週	定数係数2階線形微分方程式	定数係数2階線形微分方程式の解を求められるようになる。【VIII-E】
	15週	復習と調整	必要に応じて復習などを行う。【VIII-E】
	16週	期末試験	

評価割合

試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
----	----	------	----	---------	-----	----

総合評価割合	95	0	0	0	0	5	100
基礎的能力	95	0	0	0	0	5	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0